

Exhibition of
Hinamatsuri

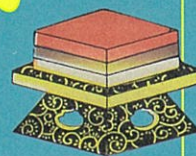
2017.1.21 sat - 3.5 sun

Morioka History and Culture Museum



ひな祭り

名家に伝わるお雛様を愛でる



会場／もりおか歴史文化館2階「企画展」小室
観覧料／一般300円、高校生200円、小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引
開館時間／午前9時～午後6時(入場受付は午後5時30分まで)

2017年
1/21[土]→3/5[日]

もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum
活性化グループ



主催／もりおか歴史文化館 共催／盛岡市、盛岡市教育委員会

後援／盛岡商工会議所、中津川流域文化施設連盟「NACA」、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞盛岡支局、河北新報社盛岡支局、盛岡タイムズ社、岩手毎日新聞社、デリー東北新聞社、時事通信社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんたいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手ケーブルテレビジョン、ラヂオもりおか、マシエリ、情報紙ゆうゆう



有職雛：盛岡南部家所蔵



稚児雛：盛岡南部家所蔵



立雛



次郎左衛門雛：及新所蔵



御所人形「小槌」



古今雛：七戸南部家所蔵



犬宮：盛岡南部家所蔵

Exhibition of Hinamatsuri

盛岡南部家、七戸南部家、城下町盛岡・遠野の商家に伝わった雛人形・雛道具、もりおか歴史文化館で所蔵している「上巳(桃)の節句」に関連する資料を中心に展示します。

「ひな祭り」は、古来中国の「上巳の節句」と平安中期の宮中の子ども達の「ひいなあそび」と呼ばれる人形遊びが結びついた行事です。古くから行われているように思われがちですが、人形を飾ってこの日を祝うようになったのは、江戸時代の初めとされています。

江戸初期は、毛氈などの上に紙雛と内裏雛だけを並べ、背後に屏風を立てた平面的な飾り方で、調度類も数少なく、簡素かつ自由で、各自思い思いに飾って祝っていました。ひな祭りが盛んになるにつれて、雛人形やそれに付随する添え人形、諸道具のたぐいも増えて一層華やかになり、それらを飾るための雛段の数も次第に増えていきました。

江戸中期には、雛人形を飾り、女兒の健やかな成長を祈る行事として庶民に広く親しまれるようになり、富裕な商家の座敷いっぱいを使うような贅を尽くした雛段も登場しました。

黒漆塗に牡丹唐草の蒔絵を施した豪華な雛道具は大名の嫁入り道具を映し、今に伝えています。華やかな雛人形・雛道具を愛で、一足早い春をお楽しみいただければ幸いです。



ひな祭り

名家に伝わるお雛様を愛でる

2017年
1/21[土] → 3/5[日]

◎ 関連企画

① ギャラリートーク (学芸員による展示資料解説)

日時／1月29日(日)、3月3日(金) 13:30～14:00

会場／本展会場(当館2階 企画展示室)

料金／展示室入場料が必要

※当日自由参加

② ワークショップ

その壺「まゆ人形づくり」

日時／2月5日(日) 13:30～15:00

会場／1階研修室

内容／まゆ玉を使い、小さく愛らしい人形を作ってみましょう!

講師／まゆ人形工房「風屋」松本 祐子 さん

定員／20人

(事前予約制：1月21日(土)10時半から電話受付開始)

料金／500円

※写真は作品のイメージです



その式「花結びでアクセサリづくり」

日時／2月11日(土・祝) 13:30～15:00

会場／1階研修室

内容／クラフトバンドで可愛い

アクセサリを作ってみましょう!

定員／20人

(事前予約制：1月22日(日)10時半から電話受付開始)

料金／500円



③ 鉾屋町からおひな様がやってきました!

日時／2月22日(水)～3月20日(月・祝)

会場／1階祭り企画展示室

内容／愛らしく、華やかなひな人形・吊るし雛を展示します。

協力／町家サロン ビビ(盛岡市鉾屋町)

料金／無料

